

北海道

1月号

かわばたの風

KAKA's FACTORY

発行所：社会福祉法人愛篤福祉会

発行日：令和3年2月10日

住所：北海道夕張郡由仁町川端1002

電話：0123-85-2246

多すぎる休息は苦痛である

遠藤 節子

▼新しい年が幕開けた実感もないまま、もう1月も終わりになる。こんな新年がかつてあったらどうか、予測不可能のただ中にいる私たちは今、冬という閉ざされた季節の中で冬眠するような自粛生活を強いられている。首都圏では毎日、千人を超える数字も出て先の見通しが見えない。この見えない恐怖に構えていなければならない生活スタイルはいずれ何らかの形でストレスになるのではないかと思うことがある。

▼一方、事業所ではマスクができないで休んでいる利用者や、感染拡大を防ぐことの意味を理解できない利用者もいる、職員の大声はみんなを守るため、それを理解させるのに苦慮している。1年も経過すると利用者も概ね理解してきた。しかし、職員もまた自らが感染源とならないように毎日事業所内の消毒を徹底するなど疲弊感、緊張感はピークにあるといっても過言ではない。

▼このコロナウイルスは自粛生活やマスク、ワクチンで切り抜かれるのか。唯々頑なに手洗い、消毒、マスク、不要不急の外出を避けて暮らす新年のスタートだ。どうか、皆様も大変だと思いがすが頑張りましょう。

伝えたい思い

太田 さとみ

新型コロナウイルスの第三波が猛威を振るう中、今年は川端で、静かなお正月を迎えました。事業所の休みが終るころ、支援学校の先生や保護者が見学にきます。その場合、私は自分の体験を話すようにしています。学校では障がいの子も手厚く守られる環境がありました。さらに、呑気なもので卒業後の進路、将来の施設など、国や自治体がどうにかしてくれると思っていました。しかし、卒業後、作業所に通い始め学校と全く違う環境を体験することになります。学校という温室から社会という大海に出ることになるのです。そこではかつての手厚い教育はありません。その時、我が子はどのような適応能力が発揮できるでしょうか。親としての無知を知り、恥ずかしさを感じました。法は何度も変わっていたのを知ろうともせず、国が、施設が「やってくれる」と思い込んでいたことを恥じています。親として早い時期にこの事に気づいておけばよかったです。少しも前から子供の将来を考えられる親になっただけという思いで、見学者に伝えるようにしています。深々と降り積る雪を眺め、「間違いを積み重ねてはならない」と心新たにいたしました。

1人暮らしで成長『自分でやってみる』

1人暮らしの利用者さんに確定申告書提出のお知らせが届き、支援を受けつつも自分で昨年の控えを見ながら氏名、住所、収入額(令和2年の工賃総額)等を枠内にきちんと記入できました。川端に来て、生活環境の変化に思うに任せないこともたくさんありました。しかし、本人の頑張りもあり家計簿の計算や食品選び、身だしなみ等々、1人暮らしだからこそ習得できたこと、失敗したこと積み重ねが一步一步の成長に繋がっていることを実感しています。

サービス管理責任者 加藤 安子

2月の予定

- 5日 工賃支給
- 15日 避難訓練
- 25日 工賃会議

コロナ禍に伴い、社会体験活動は自粛しております。

風だより

川端は例年より少ない積雪でしたが、お正月に月明かりも相まって、幻想的な風景を見せてくれました。▼日本海側の大雪のニュースを見て、除雪を体験している者にとっては他人ごとではないなど、テレビの前でため息をつきました。▼地球は様々な情景を魅せてくれます。自然の美しさを感じ、また反対に脅威を感じることもありです。▼はやぶさ2号が帰還したニュースにロマンを感じ、この地球がいつまでも美しいまま残ることを願いました。

ばん せっち
アクリル板を設置しました

新型コロナウイルス感染予防のため、事業所にアクリル板を設置しました。

ちょっときゆうくつだけど、慣れていくようにしていきましょう。



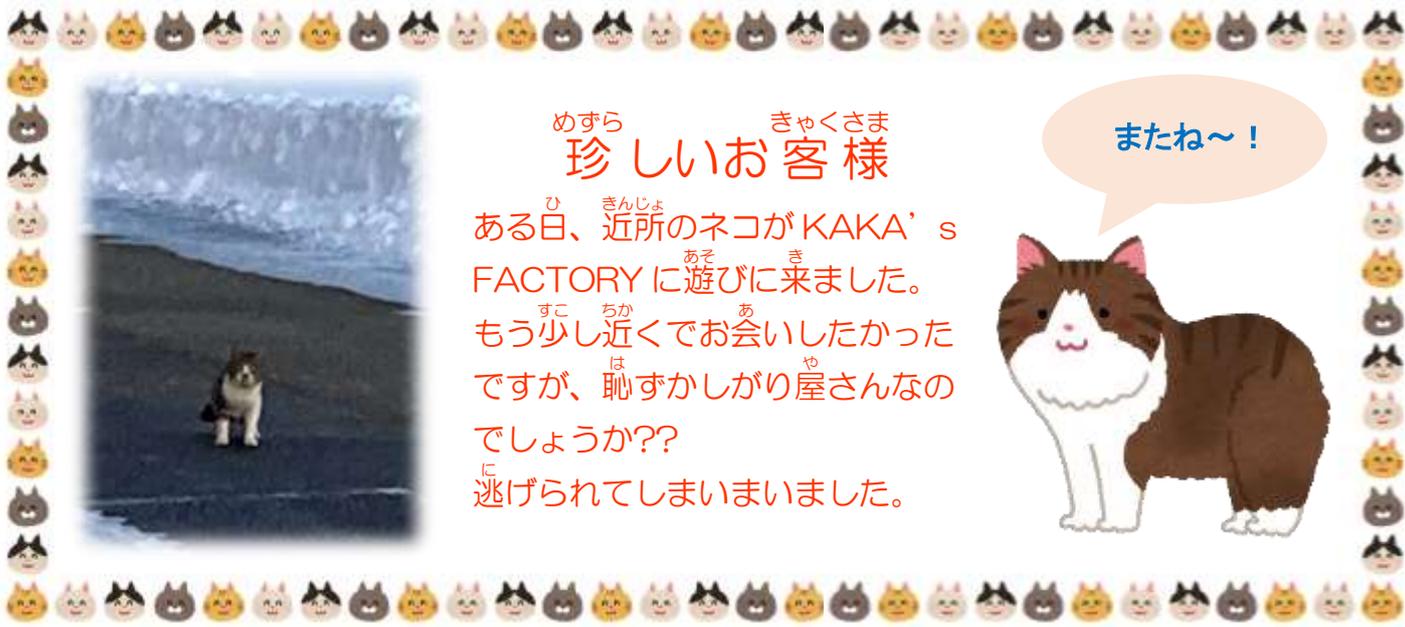
おたんじょうび
おめでとう!

おおた ひでとも

太田 英智さん

★お誕生会 メニュー★

からあげ・とり南蛮・
真だくさん春雨スープ・
ごはん・りんご・
カステラケーキ
でした(^_^)



めすら きゃくさま
珍しいお客様

ある日、近所のネコがKAKA's FACTORYに遊びに来ました。もう少し近くでお会いしたかったのですが、恥ずかしがり屋さんなのでしょうか??
逃げられてしまいました。

またね~!

